

学術ポータル担当者研修 レポート

広島県大学図書館協議会

森保信吾 野村香代子 末田紀雄

1. 発表資料の状況設定

広島県大学図書館協議会(県大図協)研修会で、広島大学の尾崎・上田両氏による機関リポジトリについての概要説明の後、研修会の参加者である県大図協加盟館の館員に対して広島県大学図書館共同リポジトリ(HARP)について説明し共同リポジトリへの参加を呼びかける。

2. 発表内容抄録と研修当日の講師からの助言、及び研修発表との改定部分

- 助言者からは具体的な登録方法、大学規模の違いによる費用の不公平感についての解消法、白バラリポジトリについての成功度合いについて触れるべきとのご指摘をいただいた
- 機関リポジトリについての概要は尾崎・上田両氏により説明されたため、機関リポジトリの概要について説明するスライド部分はすべて削除
- 経費比較のスライドは、参加機関数を10と仮定し一機関あたりの費用の試算を具体的に示した
- HARPの体制をわかりやすくイメージさせる図を挿入した
- 研修時には未定だった締め切り日や問い合わせ先等を正しいものに変更した

3. リハプレゼンの概要

- 日時・場所：9/25 広島大学中央図書館ライブラリホール
- 発表者：森保信吾(広島工業大学)
- 対象者・人数：平成19年度第1回県大図協研修会参加者 18 大学 51 名

4. リハプレゼンへの反響

- メタデータ(キーワード)のとり方についての具体的な規則を問う質問があり、共同リポジトリへの関心の高さが覗えた
- アンケートで回答された評価
 - 大変参考になった…17、参考になった…14、普通…1
- アンケートで回答されたコメント(おおむね重複するコメントは省く)
 - HARPに論文をまとめて登録する方法が知りたい
 - 分かり易かった
 - 共同リポジトリがあるのは知っていたが、実際の状況を知らなかった
 - 登録する内容はどう選択しているか
 - 小規模図書館なので参加するのは難しいが、前向きに検討したい
 - 案内をいただいていたものの状況がつかめていなかったが、説明を聞いて良くわかった
 - 用語集がほしい
 - (絵を用いた)導入が良かった
 - HARPの名前はしっていたが、だいぶ理解ができた
 - まだリポジトリのことが良くわかっていないので機会があればきいてみたい
 - リポジトリについて引き続き研修をやってほしい
 - HARPの有効性が理解できた

5. その他

- 2008年4月からの正式稼働のために準備中